



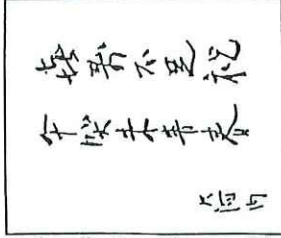
設立5周年記念誌

(社) 萩・長門・三隅地区

広域 シルバー人材センター

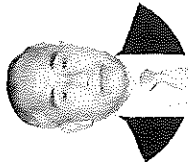
目次

ごあいさつ.....	1
理事長 井町 新熊	
お祝いの言葉.....	2
萩市長 小池 春光	
長門市長 福田 政則	
三隅町長 植木 英策	
思い出のかずかず	
萩.....	5
長門.....	14
三隅.....	20
反響の声・声・声.....	23
発注者の声.....	25
松村 勇 国近 忠雄 松永 明	
来島ちづ子 田中 久代	
会員の声.....	30
榎道 應郎 柴田 モヨ 作間 包夫	
小坂 亮 三戸タマヨ 大谷長太郎	
桐山 秋輔 桂 泰子 水津百合信	
水島フサ子 片山 範夫 平瀬 哲夫	
吉祥 清香 古屋百合子	
資料	
センターの仕組み.....	37
仕事の内容.....	38
5年の歩み.....	39
年度別契約件数および契約金額の推移.....	47
年度別会員数および就業延べ人員の推移.....	48
受注の動向および男女別・年齢別会員数.....	49
役員異動一覧表.....	50
役員紹介.....	51
職員紹介.....	52
記念表彰者名.....	53
記念事業実行委員会・式典表彰部会・記念誌編集部会.....	54
あとがき.....	55



五枚行急紙に身す 野矢(宗徳)にまね紙

ごあいさつ



萩・長門・三隅地区
広域シルバー人材センター

理事長 井 町 新 熊

昭和61年9月に出発したわが萩・長門・三隅地区広域シルバー人材センターが、早くも設立5周年を祝うことになりました。無事しかも良好な成績をもってこの日を迎えることができますことは、まことに深い喜びであります。

当センターは県下では初めての2市1町にまたがる広域センターであります。従って、結成までに連絡調整など、生みの悩みも多かったのですが、関係各位のご熱意により、問題を一つ一つ解決し、めでたく誕生の日を迎えることができました。

発足後の運営におきましても、広域なるが故に手数を要することもありました。が、基本方針を確認し全体計画を立ててからの実際の運営は、各地区ごとの自主性にまかせましたので、結果的には、各地区の長所の長所を発揮することができて、相互に好影響をもたらすことになりました。

当初会員約800名で出発しましたが、5年たった現在会員約550名に達しました。しかし、これでもまだ対象人口の2%程度であります。センター設立の目的実現のためにも、もっと多くの同志を迎えることを、強く期待しております。

5年間の実績をふりかえってみますと、元気に働く喜びを感じるとの会員の声をよく聞きます。発注者の側からも、センターの活動は好評を得ていると信じております。実績を数字の上でみますと、契約高が元年度で1億8000万円、就業率が98%を超え心強い限りであります。

今後に望むところは、会員増、技能の向上を図ってセンターの足腰を丈夫にし、さらに会員の福利厚生面にも力を入れて、働く喜びを増進させたいものです。また、共同作業場の実現も強く望まれるなど、夢はますますふくらんで参ります。

5周年に当たり、関係各位に心からの感謝を捧げて、ごあいさついたします。

お祝いのことば



萩 市 長
小 池 春 光

(社)萩・長門・三隅地区広域シルバー人材センターが設立5周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

貴シルバー人材センターは、昭和61年9月に急速に到来する高齢化社会の中で、高齢者の知識や経験、技能などを生かし、それぞれの自己の能力を活用して、就業の機会を確保、提供する人生の生きがい創造の事業として設立されて以来、今日まで役員の方々を始め、会員の皆様方のたゆまぬご努力によって、著しい発展を遂げられ、ご同慶にたえないところであります。

ご承知のとおり、国におきましては、来る21世紀に予想される超高齢化社会に向けて、長寿福祉社会を実現するため、従来の福祉施策の見直しを行いつつその目的に沿った施策を押し進めてまいりました。

わが萩市におきましても、この国の基本方針に沿いながら21世紀へ向けての長期展望に立って「庭園都市・萩」を掲げ、施策を進めてまいっているとところであります。

本格的な高齢化社会を迎えようとしているとき、高齢者の生きがいづくりは、時代の要請であります。

このような中で、高齢者の就業の場が確保されることは、重要な課題であり、シルバー人材センターの役割は、ますます大きくなってまいります。

関係各位におかれましては、設立5周年を契機として、更にその役割を十分に認識されまして、より一層、事業の拡充に努められますよう心から期待するものであります。

終わりにのぞみ、シルバー人材センターの更なるご発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、お祝いのことばといたします。

5周年を祝す



長門市長
福田政則

社団法人萩・長門・三隅地区広域シルバー人材センター5周年記念にあたり一言お祝いを申し上げます。

平素は広域シルバー人材センター事業の運営には格別なご尽力をいただき、その実績をあげてまいりましたことは、これもひとえに、理事長をはじめ、役員、また、会員の皆様方の並々なご努力のたまものであり深く敬意を表します。ご承知のように、21世紀初頭には、わが国は全人口の4分の1は高齢者になると予測されておりますが、わが国経済社会のいまの活力を維持し、住民の福祉を担っていくためには、若い人だけが働いていれば十分ということではなく、これからは、健康な高齢者が連帯し、互助の精神をもって共働するなかで、地域の様々な仕事に参加し、その活性化を図ることが重要であります。

高齢者の「生きがい」の確保と、「健康の維持」を図るとともに、社会参加への推進は、徐々に軌道に乗っておりますが、今日の社会経済情勢は大変きびしく広域シルバー人材センター事業も、会員の努力のみではその発展は得られず、地方公共団体、あるいは、地域関係者の皆様方の深いご理解とご協力がぜひ必要であります。

本事業の推進にあたっては、地域の実情に適した新しい仕事の開拓も必要ですが、就業において発注者から感謝される仕事をするという熟慮が大切であります。どうぞこれからも健康に留意され、働くことにプライドを持って、この広域シルバー人材センター発展のため、また、地域社会の発展に尽されまますようお願いするものであります。

終わりに、萩・長門・三隅地区広域シルバー人材センター事業のまますますの発展と、会員の皆様方の一層のご活躍を祈念いたしましたこととさせていただきます。

活力ある長寿社会の 担い手として



三隅町長
植木英策

「町長さん、人がいなくて困ります」本年3月、地元誘致企業と町との企業懇話会で相次いで出た共通の悩みが、深刻化する人手不足です。企業経営者たちが中・長期的に頭を痛めている最大の課題「労働力不足」を考えると、これは、大型景気が持続しているという単純な景気循環過程の現象ではなく、むしろ21世紀初めにかけて若年人口が大幅に減るといふ構造上の問題に突き当たります。

1992年をピークに18歳人口は、200万人から120万人まで減少、生産年齢（15～64歳）人口は1995年から年々減少して、その後も出生率の低下から大幅な回復は望めません。それに対し、労働需要は増え続け、10年後には300万人近くの技術者が足りなくなるといふ、経済企画庁の予測であります。

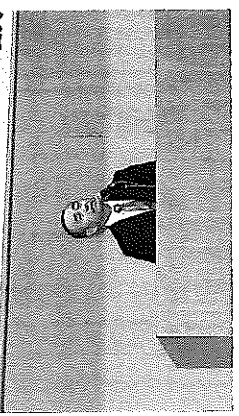
豊かな時代に育った若者に人気のある企業は「花鳥風月」（花形の仕事で、長期休暇がとれて、社風がよく、月給が高い）とたたえられ、しかも都市圏への人口流出が著しいことから、「町に若者がいなくなる」といふ非常事態を招来しています。

平均寿命が80歳を超えた今は、活力ある長寿社会を形成し、ゆとりと生きがいのある生活を実現することは、21世紀に向けての国民的課題と申せましょう。

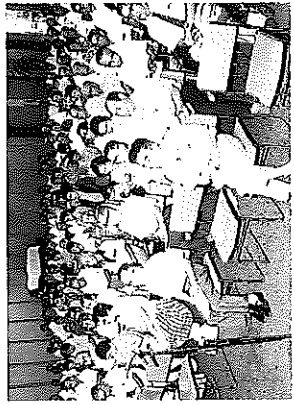
会員の皆様には、来るべき21世紀の高齢化社会の担い手として、ますます心身のリフレッシュに努められ、長年培われた知識と技能を、豊かな地域社会創造に向けて十二分に発揮されることを切にお祈り申し上げます。5周年を迎えた広域シルバー人材センターのご功績に深甚なる感謝の誠を捧げ、今後ますますの会のご発展と、会員及び関係者のご健勝を心からお祈り申し上げます。

思い出のかずがず

バー人材センター設



▲井町理事長あいさつ

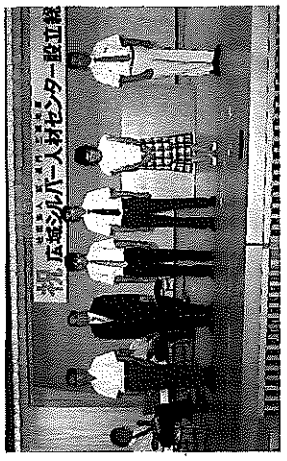


▲熱心に聞きている会員

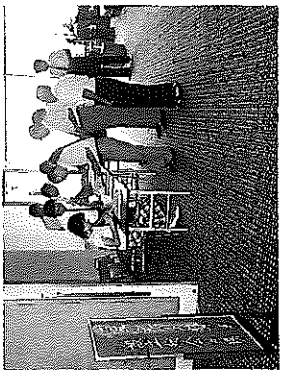


▲前途に夢を...
設立総会

総会

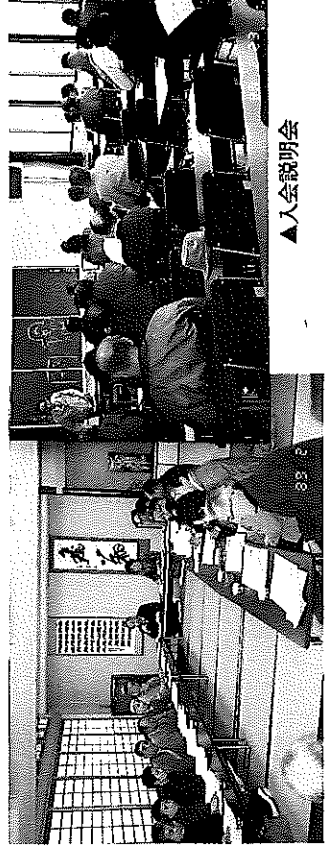


▲そろいぶみ・どうぞよろしく職員紹介



▲ようこそおいでませ...ご苦労さん

秋



▲入会説明会

▲地区世話人集會

業務



▲みこしを囲んで(会員の作品)



▲普及啓発活動

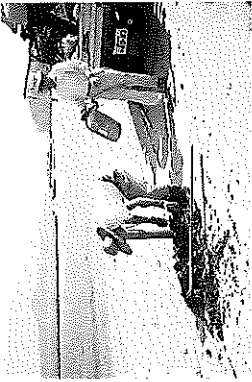


▲事務局にコンピューター導入

思い出のかずかず



▲草刈り



▲菊ヶ浜の清掃



▲不燃物処理

作業



▲反射炉での清掃

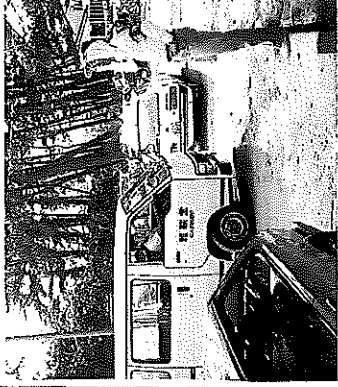


▲文化財の発掘



▲観光案内

▼駐車場の管理

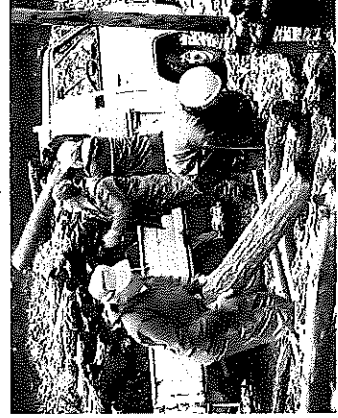


▲エキストラ

作業



▲夏柑の摘果



▼しいたけ原木の運搬

思い出のかずかず



▲ちよっと一服



▲桐箱の製作



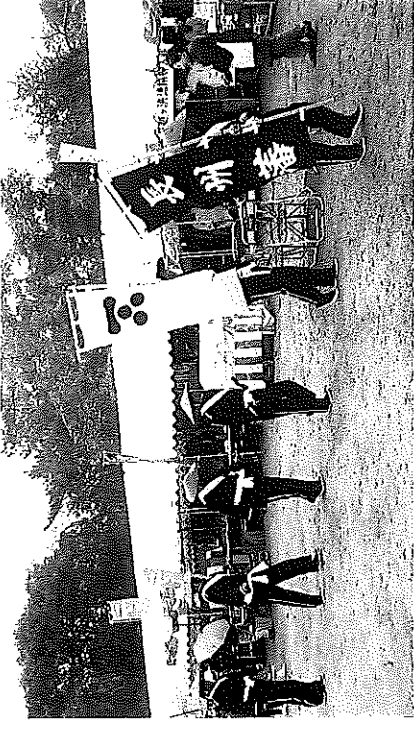
▲清棉奉仕

▲笠山での清棉



▼田床山遊歩道の改修

作業



ボロこまへん

▲格まつりにも...



▼園児出迎え



▼田床山いこいの広場管理



▲会員手づくり即売



▲植木の即売



▲眼もできました…懇親会

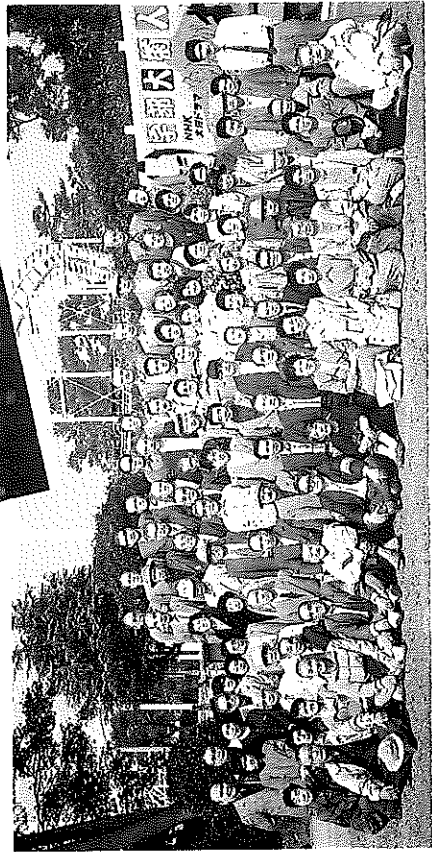


▲徳佐リンゴ園で

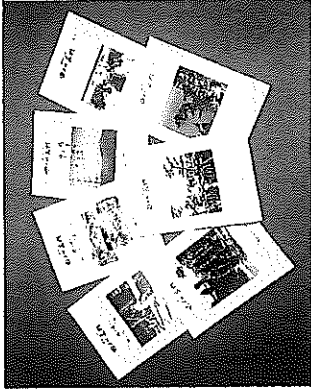


▲雨にたたられた
広島海洋博で

研修旅行



▲宇部常盤公園で



▲会報長門

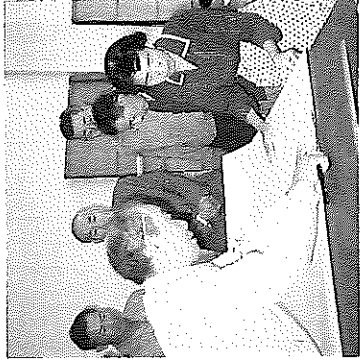


▲剪定の実技

技能研修



▲調理の実技



▲ふすま張りの実技



▲書道の実技

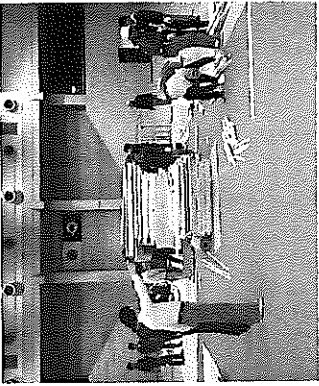


▲介護の実技

思い出のかずかず



▲焼却場受託作業



▲山口県スポーツ文化センターへ



▲共働共助の威力



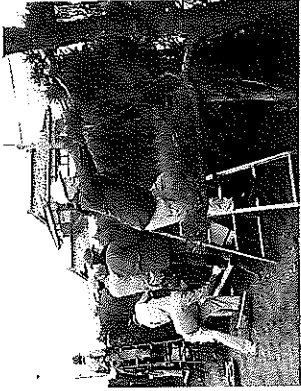
▲河川敷敷刈り（深川川）



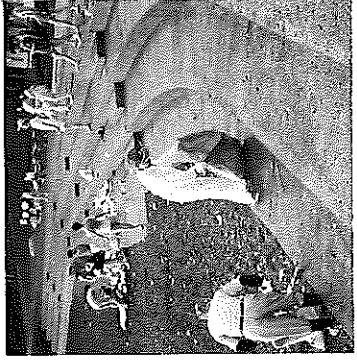
▲市道除草作業



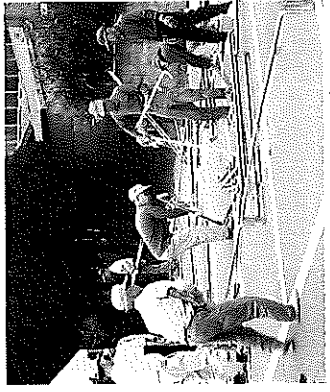
▲“ちょっと一息”



▲長寿園ボランティア作業

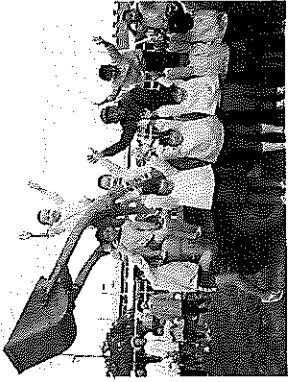


▲青海島キヤンプ村清掃

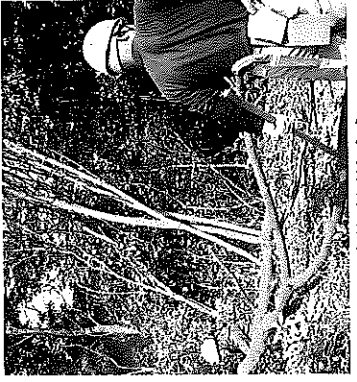


▲会場づくり（ふるさと祭り）

長門



▲園児と共に（西深川保育園）



▲赤崎公園地造成

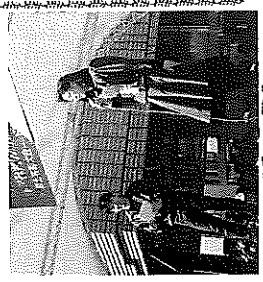


▲市議選挙ポスター張り

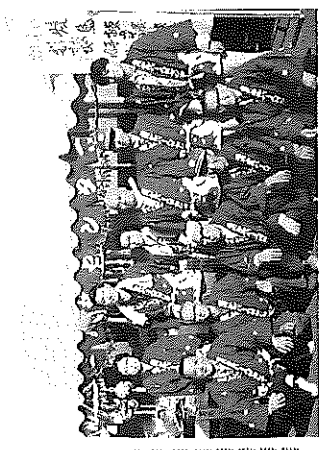
ORANGE RIVER

思い出のかすがず

ふりま



▲ “和っ子”



▲ はっぴ姿で

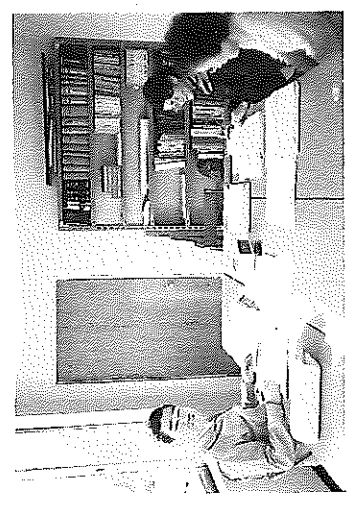


▲ 商売繁盛

▲ “焼鳥はいかが”



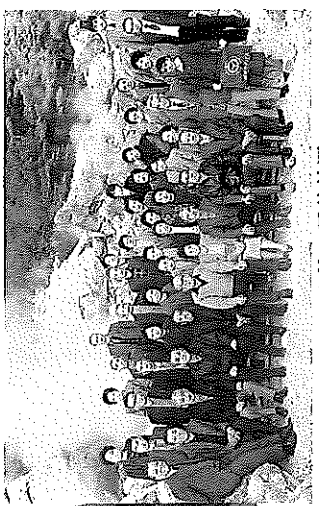
▲ 北長門活魚センターで



▲ ベテランのゆとり



▲ 眠って帰って雲仙の夜



▲ 於：雲仙地獄

旅は道つれ
想ひ出は旅の行



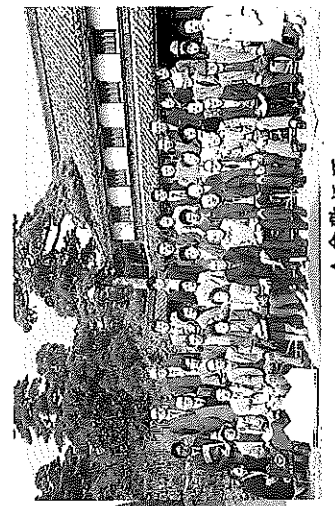
▲ 阿蘇山にて



▲ 豪華な昼食



▲ 琴平館で

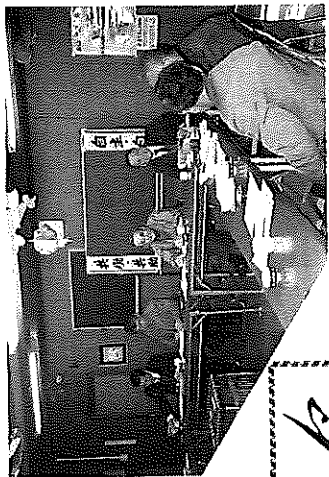


▲ 倉敷にて

思い出のかずかず



▲ 深川地区会員集会



▲ 通地区会員集会



▲ “喜寿祝うに足らず”

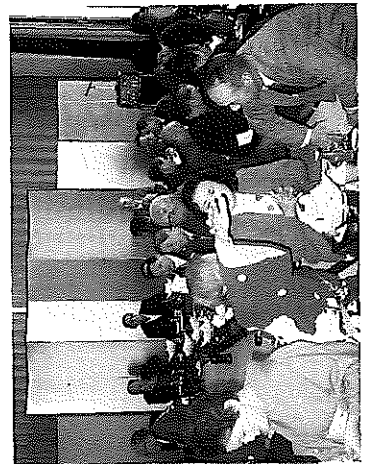
伊賀赤龍会



▲ カラオケは楽し

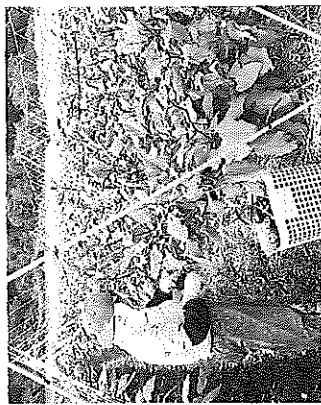


▲ 「炭坑節」のどよめき



▲ 飲むほどに酔うほどに

いろいろの場で
働きました!



▲ 長州千両なすの収穫



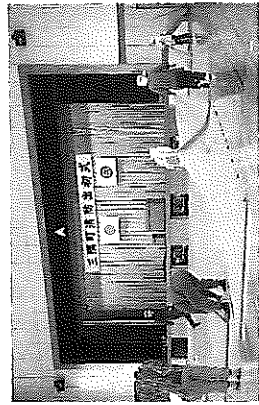
▲ 字幕などの筆耕



▲ 公営選挙ポスター掲示板製作



▲ 結婚披露宴会場づくり



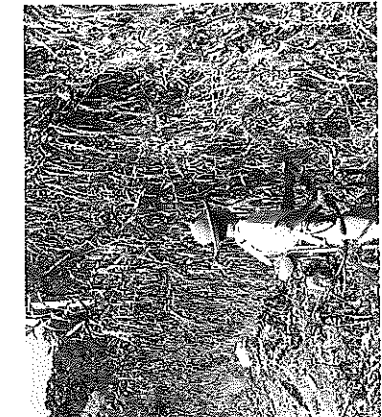
▲ 消防出初式の会場づくり



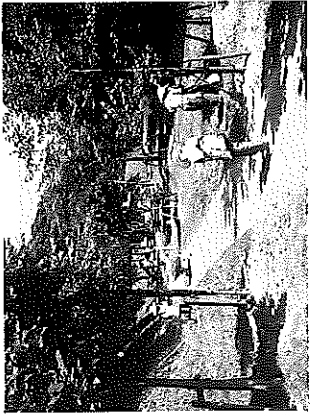
▲ 水産加工

思い出のかずかず

町営 松島キャンプ場清掃 共同作業



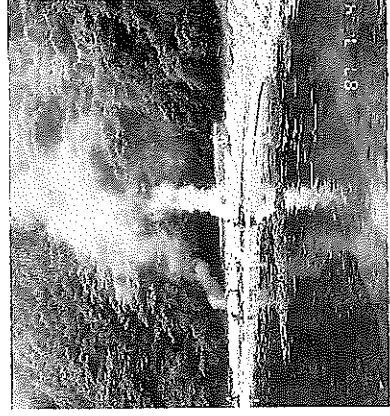
▲入口周辺草刈り



▲テントサイド清掃



▲木・竹類など運搬廃棄

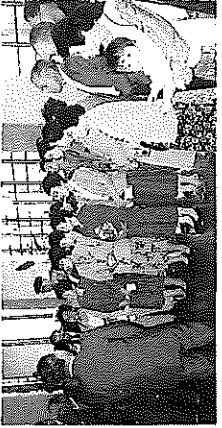


▲海岸線清掃

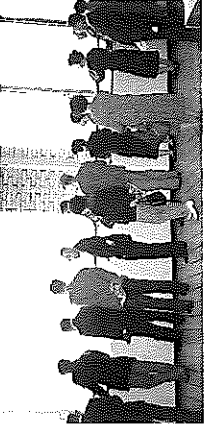


▲木陰で昼食

三隅



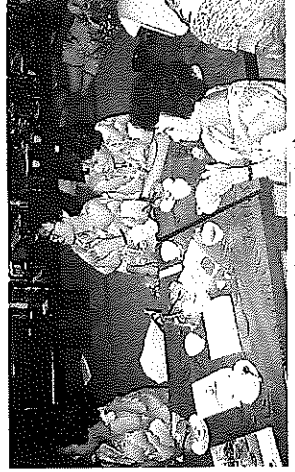
▲1階エントランスホール
孫もお供



▲15階展望室
眼下は山口市
タカイナター!



▲ご馳走サマ!
アロハでハワイ気分



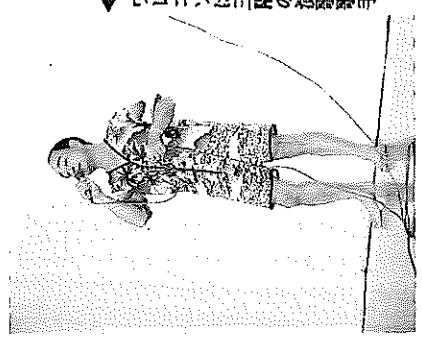
▲カラオケも出た!



▲サア一出発進行

元気回復 親睦旅行

元々1180(水曜)

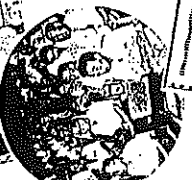


▼ドラゴンは三層の演歌歌手

反響の音・声・声



「永年の経験を活かして、まだまだ働けます」



永年の経験を活かして、まだまだ働けます。三隣地区広域シルバー人材センターが、長門・三隣地区広域シルバー人材センターが、9月1日、社会福祉協議会、三隣地区広域シルバー人材センターとしてスタートしました。これに先立ち、8月20日、三隣地区広域シルバー人材センター、山口県、2期1期出社者、約170名、全体の

3地区の独自性を尊重 緊密な連携で相乗効果生む

(社) 萩・長門・三隣地区広域
シルバー人材センター (山口県)



萩市から三隣地区広域、長門・三隣地区広域、三隣地区広域、山口県

萩市、長門・三隣地区広域シルバー人材センターは、3地区の独自性を尊重し、緊密な連携で相乗効果を生むことを目指している。



萩市から三隣地区広域、長門・三隣地区広域、三隣地区広域、山口県

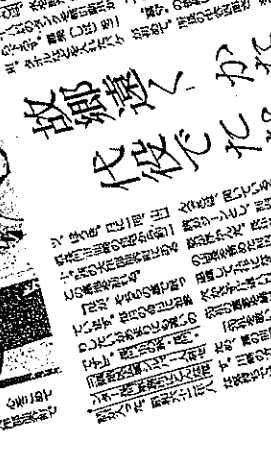
「シルバー人材センター」の全国に紹介

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

故郷愛、絆を大切に

「故郷愛、絆を大切に」は、高齢者の生活を支える重要な要素である。地域コミュニティの力を借り、互いに支え合い、共に成長していくことが大切である。



萩市から三隣地区広域、長門・三隣地区広域、三隣地区広域、山口県

「シルバー人材センター」の全国に紹介

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

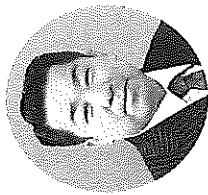
「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

「シルバー人材センター」の全国に紹介

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

「シルバー人材センター」は、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を促進する重要な役割を果たしている。全国的に普及し、多くの高齢者が活躍の場を得ている。

“設立5周年に寄せて”



松村建設株式会社
萩本陣・奥萩本陣

社長 松村 勇

昭和60年当時、山口県の中でも当地区は不況地域として働く場所の少ない地域でありました。その時、高齢化社会に対応した連絡の場として、5年前、当地区に広域シルバー人材センターが設立されたことは全く時宜を得たものでした。

私もかねて当地域にも、まだ働く意欲旺盛な中高年齢の方々がたくさんいらっしゃる。そうした方が暮んで働くことの出来る場を作り、地域社会にいきさかでもお役に立ちたいものと考えていました。

そこで、早速同センターを利用して頂くことにし、昭和61年初から社有林約200町歩余をもって、積木約35万本の規模で雑草栽培に着手しました。雑草栽培は軽労働とはいえないかも知れませんが、お年寄り向きの格好の働き場所ではないかと思えます。現在、毎日男女約20人の方々がその栽培に取り組みされており、東京築地市場をはじめ、北九州、下関等各地の市場に生雑草を出荷しています。現在は当社がパイロット事業的にやっていますが、参加者がふえ、地域を代表する産業に育ってくれば、この上なく素晴らしいと思っています。

その他、当社では旅館部門、庭園部門等で多くのお年寄りが働いておられますが、要は中高年齢者の気持ちの持ち方であり、50～60歳が定年ではありません。人間は亡くなる時が定年でもあります。働ける間は働き、自分の持っている能力に応じて、いくぶんでも社会のお役に立つ、その気持ちが大切と考えます。

雇用の場を作り、その中でお互いに力を出し合い、当地域活性化の為に役立つものと思えます。

当シルバー人材センターのますますのご発展、ご活躍を期待いたします。

どうぞご活躍ください



萩市奥玉江

来島 ちづ子

早いものでシルバー人材センターの方々にお世話になるようになって4年になります。この4年間、家の留守番を中心に、裏山の下草刈り、畑の除草、庭木の手入れなどをお願いし、ずいぶん助けていただきました。

特に留守番をしていただく方とおつきあいが長くなり、この頃では家族の一人のように甘えさせていただいております。

センターとのおつきあいは、夫の母を亡くし、小学校と保育園に通う娘たちの帰宅後を案じたことから始まり、午後だけでも留守番に来ていただけたらとあちこちお願いしていましたが、その頃、設立されて間もないセンターのことを知り、確か、今の農協会館の裏手に事務所があったと思えます。信頼のおける方で、子供好きな方ということをお願いしたところ、大変親切に対応して下さり、安心したことを覚えています。あれから4年、雨の日や、冬の寒い日などは全く恐縮しますが、自転車でお元気に通っていただいております。子供達も「おねちゃん、おばちゃん」と信頼しきっており、末の子など、夕方帰宅した私に「おね、おばちゃん」と呼びかけることもしばしばです。

定年で第一線を退かれた方々といっても、ほとんどの方はお元気で素晴らしい技術や経験をお持ちで、未熟な私共からみれば、もったいないと思うことしきりです。それを生かす意味でも、センターの存在はなくてはならないものであって私共にとって心強くありがたい存在です。

どうぞ今後とも、ますます皆様方がご活躍されることを、日頃の感謝の気持ちをこめて願っております。

シルバー人材センターへの期待



海産物製造・食料品卸
国近商店株式会社
社長 国近 忠雄

シルバー人材センター設立5周年、まことにおめでとございます。
思えば中谷所長からシルバー人材センターが長門地域で開設されるとお聞きして、早速利用の申し込みをしました。まず初回は、本社の倉庫係としてN様を派遣して頂きました。

弊社は海産物・食料品製造販売業ですが、N様には前職の経験を生かして頂き、仕事に責任と誇りを持って取り組んで頂き感謝いたします。取り扱い商品は、いつも几帳面に所定の位置に整理整頓され、在庫管理は安心して任せることができました。

人格的にも素晴らしい、全社員から信頼され尊敬されておられました。そして、あんなに元気で生き生きと働いておられたのに、ガンには勝てず大変惜しい人へ亡くしました。心からご冥福をお祈りいたします。

また海産物観光直売所“北長門”ではシルバーの皆様は、全国各地からお見えになった観光客に対して、心から笑顔と真心でお迎え頂いております。

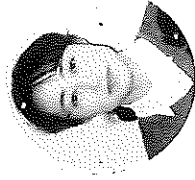
きっと観光客の皆様は、旅のお土産と共に長門地区の観光地の様子、ホテルでのおいしい料理、サービス、また素晴らしい自然の景色の思い出と一緒に、長門の温かい人間性を感じてもらっていることと思います。

今後この長門地域が、全国の他都市に負けない街になるためにも、人生における様々な皆様のご経験と、豊富な人脈、知恵をお借りしたいと思います。

また、長門地域観光客へ、観光地の説明や長門市の歴史についての案内ができるような、文化面でのお力添えも頂きたいと思っております。

シルバー人材センターに対す一層の重要性和、ますますのご活動を心から期待いたしております。

ひととき



長門市田屋
田中 久代

外は近年にない大雪が吹き荒れているにもかかわらず、わが家を暖かく包んでくれているのは、暖房器具等のおかげばかりでなく、きれいに貼り替えられた、真っ白な障子を通してさし込んで来る明るい光が、一層幸せな気分にならせてくれているのです。

自然に囲まれたわが家の純日本風家屋の生活は、何かと私にピッタリ合っているのですが、反面、障子戸の多いわが家では障子の貼り替えが大変な年中行事のひとつであり、私にとって最も大きな悩みなのです。そこで、少々穴があいても、黄ばんで来ても、見て見ぬふりでした。昨年未も「パスしてしまえ」と、思ったのですが、私の頭に、シルバーさんが浮かび、すぐにシルバー人材センターのダイヤルを回したのです。

いつものことですが、これ迄の草取り等と違った用件にもかかわらず、快く引き受けてくださいました。日にちを打ち合わせ、二人のシルバーさんが来られました。

素早く身仕度を整えると、お願いした部屋の障子戸を順番に中庭にズラリと並べ、障子紙をはがし、障子戸をきれいにふいて乾かし、次から次へと、真っ白な障子紙が貼られ、見る見るうちに、新しく貼り替えられた障子戸が、もとの部屋に納まっていく様子に、「さすが年の功(失礼?)」と、本当に感心させられました。

私だったら、何日かかっても、こんなに上手には貼れません。要領の良さと、チームワークの良さで、仕上げられた障子戸に囲まれたわが家の部屋は、見違えるような明るさになり、家族そろってすがすがしい気持ちで新年を迎えることができました。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。

何にも勝る経験



田村 建材株式会社
三脚本店 店長 松 永 明

仕事に就いて20年間、今迄になん度となく壁にぶつかり、また、悩み、そしてこれからも何が起こるかもしれない様々なこと、ある程度のごことは予測出来るかもしれませんが、今現在がどうなのか、将来は……………。不安や心配などが数多くあります。どうすればいいのか。

こんな時に皆様にも心当たりがあると思いますが、その解決の手助けとなるのがご年配の方の知恵であり、経験であるのです。仕事においても、また、私生活においてもだれもが皆人生の中であらゆる指導を受けていることでしょう。人口減、高齢化等、世情の見通しも、不確実でしょう。ではどうすればよいのでしょうか。仕事も、私事も待ってはくれません。労働力の再発掘、これは今後において最も重要なことだと感じています。

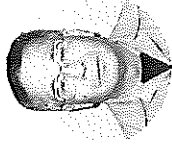
シルバー人材センター会員の皆さんは、それぞれに面識もあり、とても積極的に意見を述べられ、また、自発的に効率よく工夫されて仕事をこなされます。私どもが考えていた仕事の量、進行度よりも早くかたづく場合もあり、「次の仕事は？」と、催促を受けることがあります。現在では、朝一度ディスカッションし打ち合わせをすれば、夕方まで顔を出す必要がないこともあります。仕事に対する責任感というのでしょうか。実に細心なところまで手が届くのです。

田村建材では、いろいろの分野でお世話になっていますが、作業種によって適任者を派遣していただけだけ安心しております。

今、まさに必要とされ、今後更に対応して頂く為にも、様々な職歴、経験を持たれている方々による登録を増員されればと、大いに期待を寄せております。

長年の経験による皆様の実力、年期と根気には、ほんとうに感服しております。経験は何事にも勝るのではないのでしょうか。

設立5周年を迎えて



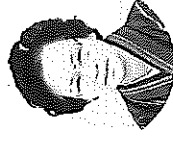
萩市 無田ヶ原
横 道 愿 郎 66歳

萩シルバー人材センターが発足して今年で5年目。昨日のことのようだ。高齢者の社会参加、生きがい、センター施設の充実等を掲げて、国の制度として発足して10年目と聞く。ここにこきつつけの事務スタッフ諸氏の並ならぬ努力に改めて深い敬意を表したい。

例えば辺りは銀世界一色。だれが果たして通り道を切り開くのか…。人の足跡を踏んで、出来た道を歩むのはいいものもやすい。他とも合わせ、参考とし、独創を追求し、そのプロセスたるや、誠に尊いものといわねばならない。よくぞここまでといたいだが、改めて発足当時の原点に立ち返って、反省をこめ、さらに施策の充実に努めなければならぬ。

会員、スタッフの交流、コミュニティの確立、関係機関の今いっそうの援助が望まれる。もはや現役から去ったという我々の遠慮と気兼ねが、今後のシルバー機関の施策の停滞と、後退を招かないことを祈る……。5周年記念行事が単なるイベントに終わることなく、会員同志、スタッフ共々のふれ合いの中に、生きるあかしをしてみじみ味わいたいものである。

5周年を迎えて

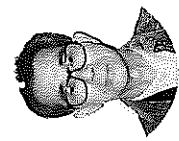


萩市 東田 町
柴 田 七 三 75歳

皆様お元気でしょうか、シルバー人材センター5周年を迎えおめでとございます。お友達に誘われ入会いたし、はや4年になります。次々に就業先を頂き、今日では2軒の家事手伝いを毎週2日通っております。

1軒はこの3月で満4年になります。私いたって元気なほうで大きい病気をしたことがありませんが、昨年6月風邪を引き、年のせいでしょうか、お医者様に通ってもなかなかよくなり、生まれて始めて点滴を打ってもらい、少しずつ快方に向かい、今では元の体に戻り、その間お容れに大変ご迷惑をお掛けいたし、「早くよくなって」と、気を使っていたとき、ありがたく申し訳なく思いました。センターにも1時間でもこのことで、ほぼつづき始め、今では元気になりました。センターにもご迷惑をおかけいたしました。

昨年の旅行大変楽しく、今年もああ楽しさを心待ちに働きます。会報「いまだ青春」の題字のように張り切り10周年を迎えとございます。皆様よろしくお願いたしました。



シルバー人材センターに参加して

萩市平安古
作問 包夫 65歳

シルバー人材センター設立以来、庭木剪定作業に従事して来ましたが、年を追うごとに体力の減退を感じるようになりました。

趣味で習得した技能ですが、入会後数多くの樹木を手掛け、作業を重ねる度に、仕上がった木の姿に満足と優越感を覚えるようになりました。これもひとえに剪定班の方々の理解と協力のたまものと深く感謝しています。

お蔭様で、剪定期間になりましたと、受注は年々増え続けていますが、残念なことに就業が間に合わない状態です。これに対処するため、剪定会員の勧誘、若返り等の後継者養成、仕事の段取り等を事務局と協力して進めていきたいと思っております。

私どもの就業は若者が嫌う『3K』同様で疲れますが、戦後を生き抜いた実績と現役時代の責任感が就業の成果を支えていると思います。健康を保つために趣味等を生かし、自分になかった作業を選び、体力の続く限り会員の皆様と友好を計り会の発展に貢献します。



初体験に思う

萩市江向
小坂 亮 67歳

「観光案内」の就業が決まる。もちろん私には始めてのこと。さてどうしたものかと思案。プロではないのだから、素人らしく案内する外はないと決心。

当日は案内に先だち、「私は素人のガイドです」と、まず宣言。案内の途中でも「あの山は〇〇山と言いつ、これこれです。ここは〇〇町で、そのいわれは△△です」また「そんなこんな事件もありました。こうした話も伝わっております」等々、方言混じりで資料に無い案内も飛び出し、客の中から笑いも出る有様。一人の客が「わしは萩に何回も来たが、今日のような話は始めてだ」この一言で私は、今日の初仕事は成功したと嬉しく思った。観光案内には、もちろんそれなりの知識も必要だが、平凡な話でも貴重な資料になることも知る。素人は、素人らしくベストを尽くせばその成果は表れるもの。初仕事で私の得たものは多かった。



働く喜び

萩市上五間町
三戸 タマヨ 69歳

あなたの趣味はと聞かれたら“働くこと”、私は特技もなく市立病院で主婦業の延長の洗濯をして3年になります。最初、洗濯物が多い日は、一戻りに通したものを抜いたり、竿に納まらず手間取ったものです。このころは段取りよく、結びを縫う余裕も出来ました。

午後は隔日に、防長交通の大坂行きバスの車内清掃に行きます。28座席あり、毛布をたたみ、枕を置き、スリッパをそろえ、ゴミ袋を前のポケットに差し込み、灰皿の掃除、ジュースの空き缶等を拾い集め、床面を掃き、サービスマナー等の埃を拭き取り、トイレ掃除、清潔整頓をモットーとして、お客様が気持ちよく過ごされるよう、防長の顔と共にシルバー人材センターの名を汚さないように心掛けております。

シルバーは働くばかりでなく、料理講習、親睦旅行等楽しく、友達も多く出来、年々老いても働けることに喜びと誇りをもち、健康第一、高齢者社会になって、自分ばかりか、他人の為に役立つことを望まれる時代だと思いつ、70歳の私だいまハッスルしております。



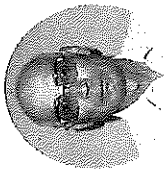
シルバー人材センターに参加して

萩市椿大屋
大谷 長太郎 64歳

シルバー人材センターに就業し、はや5年になり、その間、田床山いこいの広場、萩往還道。また農家や建設業にも就業しました。

いこいの広場では、アスレチック・スパープライダー・ローラースケート器具の貸し出しや研修室の受付管理。農家に行けば、草刈り・柑橘や生け垣の剪定・中耕・拔根・整地・焼却運搬の作業があり、建設作業では、無線用受信板取り付けの基礎作りで、茨道を面影山や天狗山に登ったり、椎茸原木の葉荷や菌打ちなどの種々な作業を行いました。

また、シルバー主催の剪定講習会に参加し、旧家庭園で庭木、特に松の剪定手順や要点を指導され大変勉強になり、自分も努力すればある程度出来るかなと思うようになりました。このほか、会員研修旅行にも参加、いろいろ会員さんと交流が生まれ楽しい思い出ができ、専任作業にも毎年参加し、椿祭りにあわせて、遊歩道や周辺の清掃を行っています。会員一同協力し、明日へ向かって頑張りますよう。



健やかな老人パワーを発揮しよう

萩市大井馬場

桐山 秋 輔 67歳

シルバー人材センター関係役職員の努力で、事業が年々充実されてきている今日、心からお祝い申し上げます。

健康な老年会員が増し、これら「老人パワー」への対策が当面の急務と思われまます。「無理せず、楽しく、長続き」を、私の人生に活かす信条にし「石の上にも3年」私も今年で3年を迎え、今後尊い人生を人様のお役に立つよう捧げようと決心します。

年をとると物忘れがひどくなるが、老化と考えないで生理的現象と思いたい。社会の変化に適応できないことが老人にとってはつらく、センターに入会し、若い人と接し、年を忘れ、今後一層社会に役立つことに汗を流し、実に爽やかに充実感の溢れる体験をしたい。

失敗や苦労した過ぎし日をなつかしみ、社会に役立つことのないまま年をとり、ボケ老人になるまいと努力していきたい。本年は節目の年として、健やかな老人パワーを発揮しよう。会員の皆さんのご健康とご多幸をお祈り致しましてごあいさつとします。



各時代に即応して生きる

萩市川島

桂 泰 子 67歳

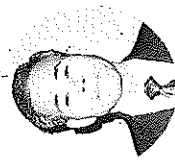
後ろ髪をひかれる思いでオフィス生活を後に帰郷し、経験を生かしたいと思っていたる時にシルバー人材センターの発足を知り、説明会には何と一番乗りをしました。

それから5年、事務関係、ワープロ、トレス関係の業務と職種は異なるがそのときどきのお呼びにルンルン気分です。

仕事をすする喜びとともに若い人達から得る息吹、時代の動きへの即応等、活気とリズムの中にあるという現実には新しい自分の芽生えが嬉しい。

この5年の社会の動きは著しく、今年ですら湾岸戦争が起こり、関連して石油、環境問題への影響、ひいては賢い日常生活を余儀なく求められる。私達は生きていく限りその時代時代に生きる一員なのである。

各年代層と心を通える機会を得て心若く生きたい。このチャンスを与えて頂くシルバー人材センターに「ブラボー」と叫び感謝する。



設立5周年を迎えて

長門市藤中

水 津 百 合 信 66歳

長門事務所は会員97名での出発で、発足当初(9月)の受注件数19件、受注契約金22万円であったのが、最近の状況を見ると会員198名、受注187件、契約金721万余円と発足当時に比べると、会員数2倍強、契約高約33倍と飛躍的發展を遂げた。このことは関係機関及び発注者の方々の温かいご理解とご協力によることはもちろんであるが、各会員の誠実な作業が各方面から評価された結果であってご同慶にたえない。

5年という節目を迎えて考えられることは、センターの歴史と共に我々会員も加齢、高齢化しつつあることである。センターの機能を十分発揮するためには、長期的視野から新陳代謝を図る意味からも、新会員の入会を促進して常に力を充実することが最も重要である。不幸にして鬼籍に入られた同僚の方々をしのびながら、のがれ得ぬ人間の宿命を思い、「健康と生きがい」というシルバー事業のもう一つの面にも、今後十分力を注ぎたい。



シルバー人材センターに参加して

長門市上川西

水 島 フ サ 子 68歳

昭和61年9月センターに入会いたしました、はや5か年になりました。

ちょうど人生の区切りの出来た時でしたし、働ける自信もあり少しでも社会参加が出来たらと思えました。振りかえって見ますと、センターのお陰で数々の人生勉強をいたしました。草取りや掃除、そのほかの軽作業で、働く気持ちと耐える心があればだれにでも出来ることはばかりです。

一日汗を流した日は何ともいえない満足感で、健康で働けることの幸せを実感しております。人間のふれ合いの尊さを知り、同世代の仲間も出来て年齢を忘れてしまいます。

一日働いて帰る時「ありがとうございます」と、感謝の言葉をかけられると「ああよかった」と、疲れも半減いたします。

老後をただ楽をして趣味だけに生きることよりもよいでしょうが、ささやかながらも社会参加出来ることに生きがいと誇りを持ちたいと思います。人手不足で困る人がおられる限り、シルバー人材センターでの私の役目はつきないと思えます。



“事務整理”の出前サービス

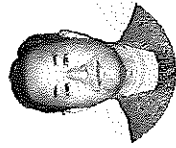
長門市中山

片山 範夫 66歳

「こんな仕事をお願いしてご無礼じゃあないでしょうか」「ええ結構ですよ、私が出来ることが何でもさせて頂きますよ」そういって出された仕事はフルスカップのレジ引きや簿冊のゴム印押しなど。……これが4年余り前シルバークーパー人材センターから派遣された私の初仕事、事務整理であった。仕事も徐々に進んでソロバンでの集計作業や大卒な仕事を任せて頂くようになった。一番大切な機密保持も生来の健忘症が幸いして、事務所を辞する時はすっかり忘れることが出来て信頼の度合いが深まることありがたい。

このようにして毎月数日間ずつ二、三の事業所回りをしている。また商社の棚卸し計算を6人のチームで行うなど、5年近くも続くと私の仕事も受持ちが定着していった。

掃除機に追い回される心配もなく、仕事への情熱を傾けてソロバンと電卓を手に積んで出勤する楽しさを満喫しているが、山の神も現金なもので仕事から帰った日は「お帰りの声にはもはずみがついて、健康のありがたさをかみしめながら酔酌の一杯がことさとおいしい。



親切丁寧に

長門市仙崎

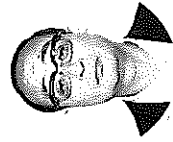
平 瀬 哲夫 64歳

私は昭和62年現職（船員）を定年退職しましたが、船乗りが陸に上がれば、「陸に上がったカップ」同様で、西も東も分らず、ただ何の意味もなく毎日を過ごしていました。

シルバークーパー人材センターがあり、いろいろな仕事や、未経験者でもよいというのを聞き、早速申し込みました。入会後、水道工事の手伝い、土建業、電気工事、草刈り、ペンキ塗り等の作業にたずさわり、お蔭でいろいろな人と出会い、知り合いになりました。

私が一番印象に残った作業は、ある家のたきぎ作りで、木材を大中小に切り分け、家なかに積み上げ、少し時間があつたので家の回りの草取り、庭の整理等をしてあげ、家主から大変喜ばれ、本当に作業のしがいがあったなあと思えました。今でも道で会えば「お元気ですか」と、声をかけ合う仲となりました。

シルバークーパー人材センターに仕事を頼めば「親切、丁寧な仕事してもらえらる」と、いろいろイメージを持ってもらえらるよう勤めたいものです。



キャンプ場管理人冥利

三隅町上中小野

吉 祥 清 香 59歳

長年の会社勤めを終え、「人生80年！さあこれから何をすべきか？……」と考えていたところ、勧められて入会。最初に就いたのが、町営松島キャンプ場の管理人である。

当初は五里霧中でしたが、やってみればこれが大変に生きがいのある仕事で、子供やボーイスカウト、各種スポーツ団体や事業所の慰労、親睦の場、また幼児から老人に至る一家団樂の憩いの場として喜ばれ、大いに利用されています。県内はもちろん、県外からも年々増加、場内が手狭の日には、割り付け整理に嬉しい悲鳴を挙げます。

利用者へのアンケート調査によれば、「海がきれい、来て良かった」「楽しい夏が過ごせた」「来年も来たい」などの回答に、「管理人の対応が良かった」の聲が響じり、誠意を尽くせば報われると、身をもって感じさせられました。シーズンオフ、町長を交えての反省会では、自然環境を損なわない改善策を具申します。そして利用者に喜んで頂けるよう頑張っていく積もりです。利用のお申し込みは、お早めに！！



美しく老いるために

三隅町中村

古 屋 百合子 65歳

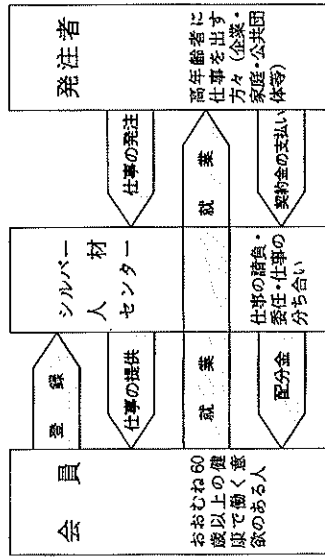
娘さんはお産で里帰り、自分も体調が悪く困っていたが、シルバークーパーから毎日4時間来て頂いてとても助かったとの話を防府で聞き、三隅にもそんな会が出来たら、定年を迎え実年期に入られた方々も「生きがい」を持って第二の人生を送る事が出来るのではと、思っていたところ、二、三か月後にシルバークーパーが出来、大変心強く感じていました。

2年前から宛名書きをさせて頂いていますが、これまで字を書くことは、余り苦にしませんでしたが書いた字で報酬を頂くとなると、これほどむづかしいことはありません。責任のある仕事をするためには一字一字心をこめて、特に分りにくい字や特別な固有名詞等は、漢和辞典や電話帳で調べ、六十路路に入りいろいろ勉強になりました。

高齢化社会に対応するため、また、健康で美しく老いるためにも、お互い人生経験の知恵を生かして、社会に役立つシルバークーパーにはありませんか。「七十にして蘇りたる壯年を凌ぐ」と、という言葉のように。

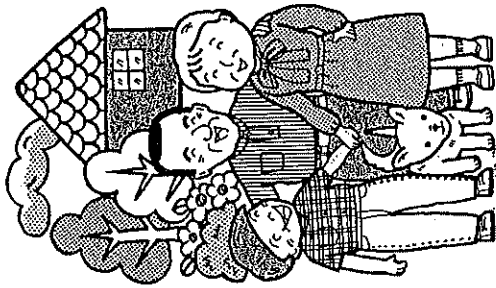
センターの仕組み

シルバー人材センターは、臨時的・短期的な仕事を、企業・家庭・公共団体等から有償で引き受け、これを会員に提供し、仕事の内容と就業の実績に応じて報酬（配分金）を支払います。また、臨時的・短期的な雇用による就業を希望する高齢者のために無料の職業紹介も行います。

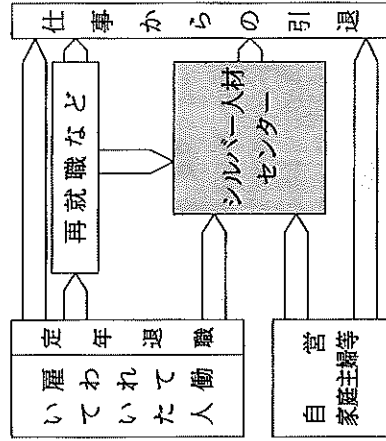


センターのめざすもの

- 地域社会と連携して
- 知識・経験・技能を活かした「就業の場」を提供し
- 生活感の充実、福祉の増進を図り
- 高齢者の能力を活かした活動がある地域社会づくりをめざしています



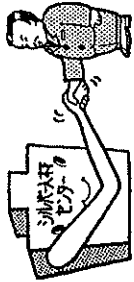
センターの会員は



会員になるには

●入会の手続き

シルバー人材センターのあるまちに住む、おおむね60歳以上の人で、働く意欲のある健康な人なら、だれでも会員になれます。



●仕事をするには

センターから連絡を受けた仕事の中から、自分で選んで働くこととなります。また、職種によって技能講習を開催しています。



仕事を頼むには

●電話で依頼を

仕事を依頼したい時は、まず電話でセンターへご相談ください。



●仕事の責任

仕事に対する責任はセンターが負います。つまり、契約した仕事が完了しますと、発注者の確認を受けます。



仕事の内容

専門技術分野	自動車運転 家庭教師 翻訳 経理事務 ワープロ消番 など
技能を必要とする分野	ふすま・障子張り ペンキ塗り 大工仕事 焼木手入れ 熟練つくりなど
事務分野	一般事務 あて名書き 毛筆筆耕 実行事務など
管理分野	公園管理 公民館管理 駐車場管理 自衛隊管理など
折衝・外交分野	パンフレットの配布 水道・ガス検針 集金・店番など
屋内外の軽作業	公園清掃 除草・草刈り 樹木剪定 勾配・掘削 ボスター張り など
サービス分野	介護サービス 家庭サービス 観光ガイドなど



その他、詳しいことはあなたの街の事務所ににご相談ください。

- (社) 萩・長門・三隅地区広域シルバー人材センター
 ☆萩事務所 萩市江向523-1 (サンライフ萩内) ☎ 08382-6-0505
 ☆長門事務所 長門市東深川1324-1 ☎ 08372-2-5639
 ☆三隅事務所 三隅町三隅下974-10 ☎ 08374-3-2588

5年の歩み

設立・昭和61年度

○昭和60年11月 萩市・長門市・大津郡三隅町で広域シルバー人材センター設立を決定。



萩市長 林 秀 宣



長門市長 福 田 政 則



三隅町長 木 村 庄 三

○昭和61年8月20日

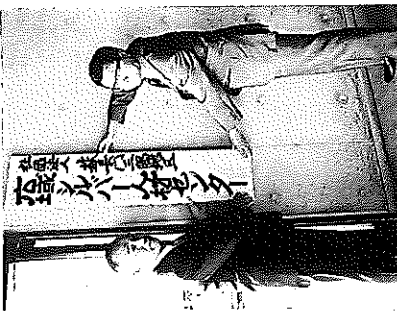
萩市で設立総会開催。

活動方針

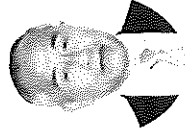
誠意を持って就業能力を發揮して、社会福祉の増進に努め、地域の期待と信頼にこたえる。

○9月1日 事務所びらき

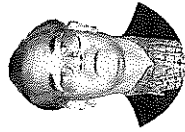
○9月6日 設立許可書交付（山口県知事）



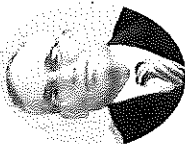
▲ 事務所開き



理事長 井 町 新 熊



副理事長 中 谷 芳 二 郎



副理事長 中 野 正 男

○10月1日 「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の施行 指定書交付（山口県知事）

○12月5～6日 全国シルバー人材センター協会 指導の役員・職員の研修実施。

年度実績

会 員 数	347人 (男210人 女137人)	就業延人数	5,079人日
就 業 率	63.40%	受注契約金額	17,766,158円

5年の歩み

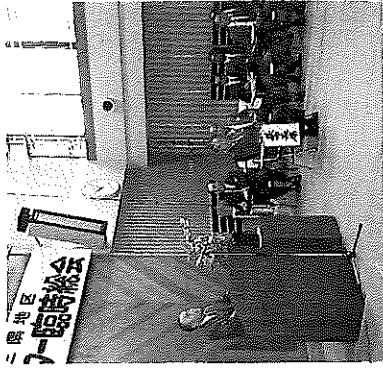
昭和62年度

○5月27日 第1回通常総会

活動方針

誠意と情熱をもって自己の経験と能力を活用發揮して、活力ある地域社会づくりに努める。

○9月1日 萩市と、萩中高年齢労働者福祉センター（サンライフ秋）の管理運営に関する契約をかわす。

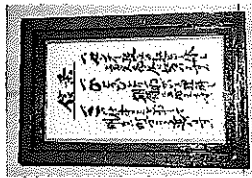


▲ 臨時総会

○9月24日 臨時総会
会報「いきいき」創刊号発行。

○10月5日 事務局を現在地に移転。

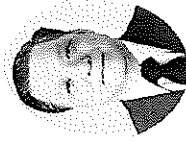
○11月9日 無料職業紹介事業業務開始。



▲ 信 条 ▲ いきいき



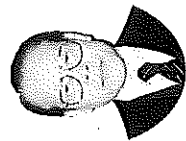
事務局長兼秋事務所所長 末 永 明



長門事務所所長 中 谷 四 郎



三隅事務所所長 原 田 啓 一



サンライフ秋所長 河 村 一 郎

年度実績

会 員 数	382人 (男236人 女146人)	就業延人数	20,917人日
就 業 率	85.60%	受注契約金額	68,960,980円

5年の歩み

昭和63年度

○5月25日 第2回通常総会

活動方針

「広域センターの真価を問われる3年目」を言葉として努力する。

配分金は雑所得

税法改正により、配分金は所得税法上「雑所得」扱いとなる。



▲ 第2回総会

会員研修の充実

地区・町内・職群等を単位とした会員の自主研修の気運が高まってきた。



▲ 天皇崩御

○昭和64年1月7日 天皇崩御

新元号「平成」と決定

年度実績

会員数	459人 (男280人 女179人)	就業延人数	35,719人日
就業率	88.89%	受注契約金額	122,394,935円

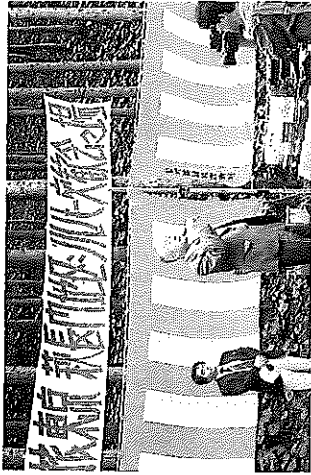
5年の歩み

平成元年度

○5月27日 第3回通常総会

活動方針

「充実と飛躍」を言葉に、強固な基礎確立のため活発な就業を行う。



▲ 東京

○7月4日

東京都下シルバー人材センター会員約200名来訪。経験交流会開催。

○平成2年1月22日

広域シルバー人材センターの組織運営協議会(主催 山口県)

平成元年4月1日 消費税法施行
受注契約金は内税



▲ 県広域協

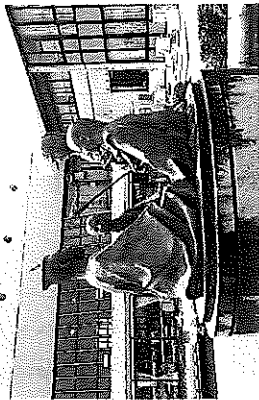
年度実績

会員数	508人 (男296人 女212人)	就業延人数	49,257人日
就業率	93.50%	受注契約金額	180,674,641円

5年の歩み

平成2年度

○5月29日 第4回通常総会



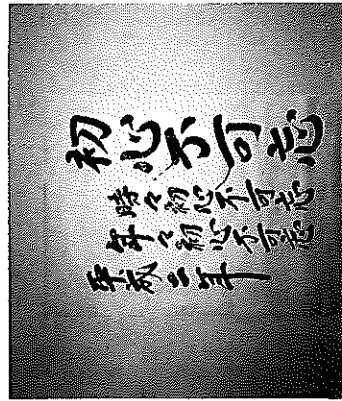
▲毛利三矢の教え

○6月1日 事務局長交代

「月刊シルバー人材センター6月号」で当広域シルバー人材センターの運営状況が全国に紹介された。

活動方針

「地域に密着した事業運営」を目標とし、センター設立の「初心」にかえり積極的な活動を行う。



▲初心不可忘

○7月16日 広域シルバー人材センター運営協議会（山口県庁）

○12月7日
広域シルバー人材センター設立5周年記念事業実行委員会発足。



事務局長兼事務所所長
菅 昭 介

年度実績

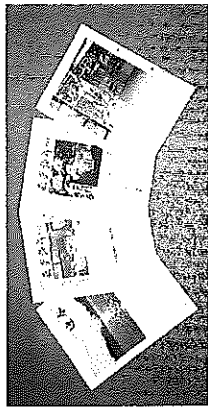
会員数	561人 (男326人 女235人)	就業延人数	53,805人日
就業率	88.77%	受注契約金額	212,945,042円

5年の歩み

秋

☆出刊 会員130名で出刊した秋事務所は、現在会員288名、年間受注高1億1377万円まで発展を遂げた。

☆会報発行 秋事務所だよりを昭和61年第1号から第16号まで発行。平成2年10月、会員参加の編集委員会発足、「いまだ青春」とネーミングし1月、10月に発行することになった。



☆編集委員会

◎ 大岡 隆 正和
土田 文次 陽 桐山 秋輔
後道 愿郎 安藤 隆章
吉津キミエ

▲会報

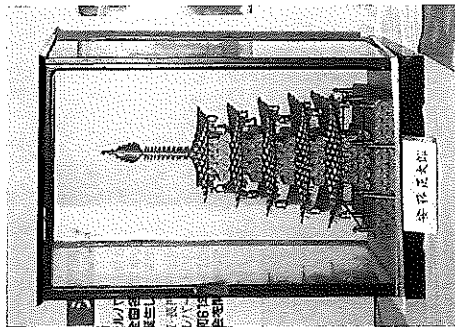
☆実技研修 技術向上を図るため、昭和62年から毎年実施（剪定・料理教室・書道・ぶすま張り・園芸）参加者20人前後。

☆地区会員集会 昭和62年度から地域内の会員の相互親睦と連携を密にするため、9地区に分けて開催。

☆地区世話人集会 昭和62年度から年2回開催。

地区世話人

川島・土原地区	伊藤 博美	土田 文次	片山トヨ子
江向・河添地区	陽 正和	橋部 正繁	藤田 末蔵
平安古・堀内地区	神野 友施	柴田 モヨ	伊藤 節男
川北地区	藤田 修一	大岡 隆	後道 愿郎
橋東地区	小野村啓次良	大谷長太郎	西山 聡
椿地区	西山 秋輔	桐山 秋輔	吉津キミエ
山田地区			
大井地区			
三見地区			



▲ 会員作品展
五円玉五重の塔

☆普及啓発促進月間（10月1日～31日）会員作品展・パネル展や街頭ビラ配り実施。

☆会員親睦旅行 昭和63年10月：鹿野町漢陽寺と高齢者センターへ 参加人員65人
平成元年9月：広島「海と島の博覧会」へ 参加人員60人
平成2年10月：宇部菊人形展へ 参加人員85人

5年の歩み



☆ 出発!! 1986年(昭和61年)9月1日

会員97名で発足した長門シルバークルは、現在、会員数200名、年間受注契約金額7,000万円を越えるまでに成長した。これもひとえに会員お一人お一人の「誠実さ」の賜であらう。昭和61年9月1日、最初のお客様(発注者)は駅前区の国近商店。紙箱折り1,200個と倉庫整理の仕事であった。続いて白木屋グラウンドホテルの朝市、福永医院の庭木の剪定・除草、東光工業の材木磨きと広がる。

☆ 長門地区発足会員総会

(11月17日、長門市物産観光センター)
 福田長門市長の心暖まる激励を受け、山口生涯教育センター河野輝枝次長の「美しく生きる」の講演を聞き、一同決意を新たにする。

☆ 吹雪の中の砂防工事

扶桑建設発注の延々700mに及ぶ小松原砂防工事は、12月22日から翌年2月末まで。吹雪舞い、寒風はだを刺す酷寒のさ中、まさに寒さと疲労との戦いであった。延べ213人に及ぶこの事業は長門シルバークルが最初に取り組んだ忘れ得ぬ難工事であった。

▲ 冬の小松原砂防工事



☆ 生きがいは自分の汗でつくるもの

会員自身の技能向上のために、初年度から香道、剪定、調理の実技研修会を行い、63年度には、ふすま・障子の張り替えの実技研修会を加え、また、現在社会の要請に応じて、平成2年度から介護の実技研修会を取り入れ、仲間つくりの輪はいよいよ広がりを見せた。

☆ 地域活動への参加 (ボランティアの心)

私たちの仕事は、特に独居老人、更には人手不足の昨今、各方面から大変喜ばれている。とりわけ、市ご当局的深いご理解もあって、公共的な仕事にも大いに力を発揮している。初年度からの小河内公園の草刈りを請負い、昭和62年度には市道及び青海島遊歩道・山島山の草刈りを、八坂会館よ志乃の配膳・販売の仕事もこの年に始まる。昭和63年度からは市の浄水地の草刈り・除草作業が始まり、更には「ふるさと創生」事業の「桜の里づくり」、青海島キャンプ村草刈り・清掃、赤崎山児童公園造成など、同年だけで延べ312人が参加している。昨年度は「ヤマネ鉄工建設」工場造成作業に延べ235人がさわやかな汗を流し、福祉施設の長寿園、恵光苑、福祥苑の夜警・宿直業務にも多数の会員が従事している。

☆ Enjoy Silver (シルバークルを楽しもう)

「生きがい集団」としてのシルバークル。平成元年度から「ふるさと祭り」への協力参加、また昭和63年度からの会員親睦旅行の実施。初年度には雲仙・天草の旅、翌年度は阿蘇五岳・蓮華院の旅、昨年度は琴平・倉敷の旅へと“ゆとりと笑顔”の輪は更に広がっていく。

5年の歩み

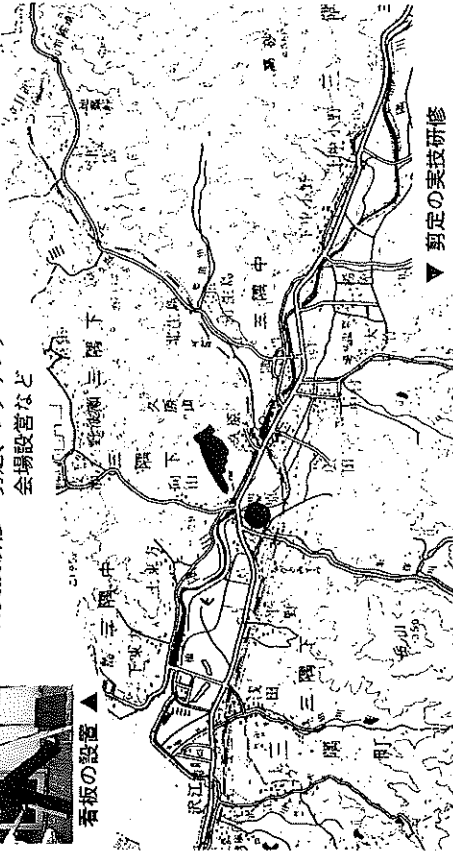


☆ 昭和61年9月商工会館内に開設
 ☆ 平成3年4月旧NTT局舎へ移転
 ☆ 年度末会員数の推移 (人)
 ・ 昭和61年度 男 34 女 25 計 59
 ・ 昭和62年度 33 23 56
 ・ 昭和63年度 39 31 70
 ・ 平成元年度 47 43 90
 ・ 平成2年度 49 44 93
 ☆ 毎年の恒例行事
 ・ 会員協同作業 (松島海岸清掃)
 ・ 三隅町長を囲んでの会
 ・ 親睦バス旅行



▲ 香板の設置

☆ 実技研修 剪定、レタリング
 会場設定など
 ☆ 親睦バス旅行

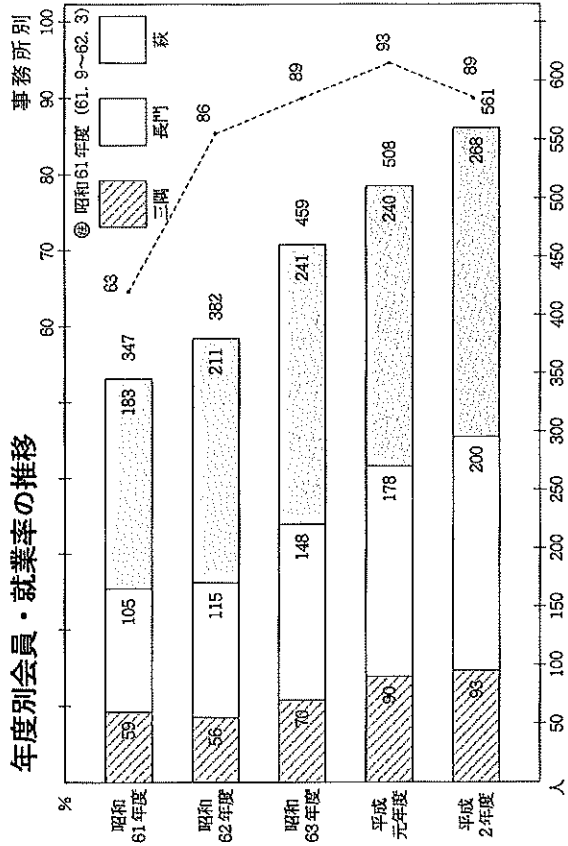


▲ 剪定の実技研修

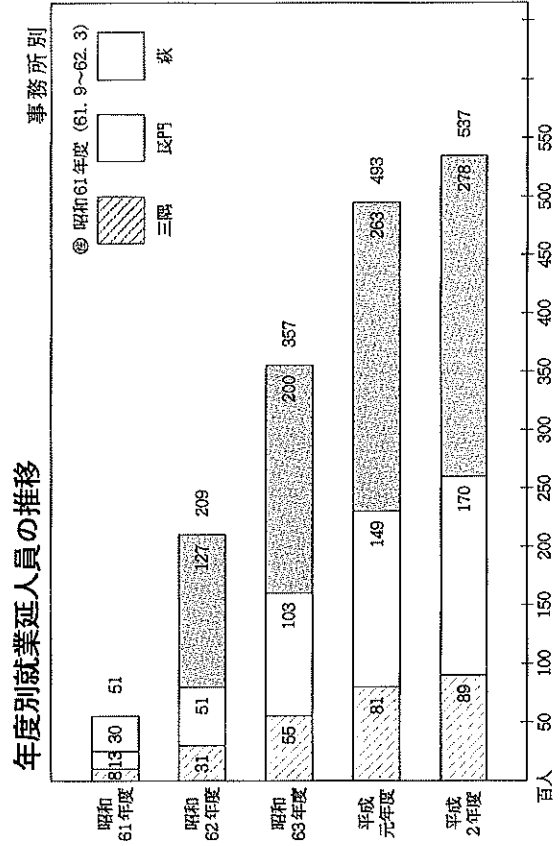


▲ 作業現場へ町長を迎えて

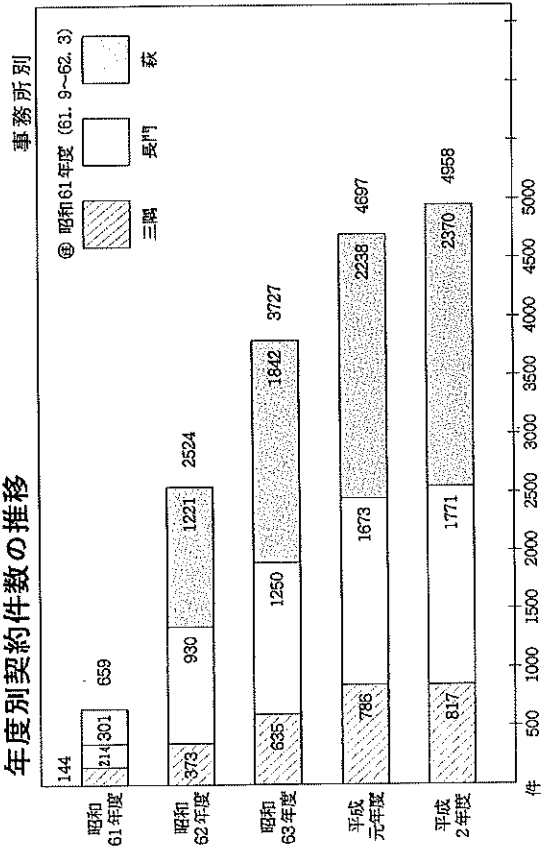
年度別会員・就業率の推移



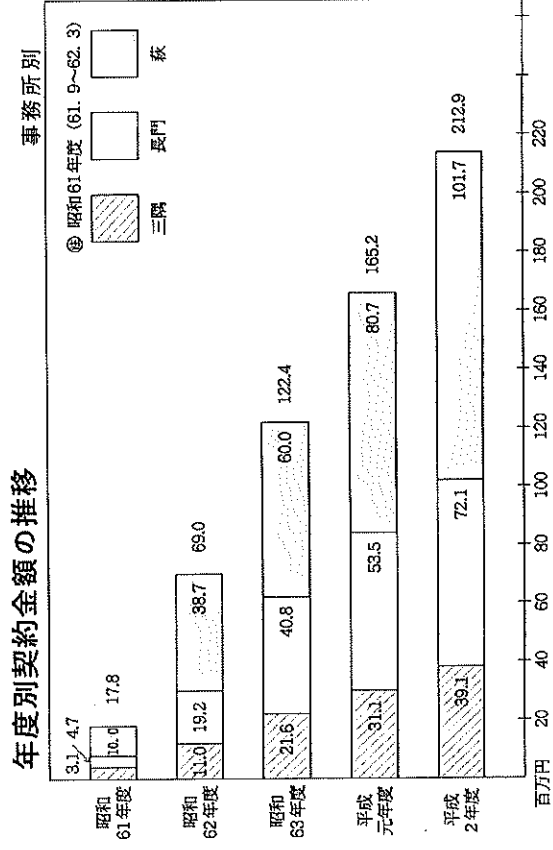
年度別就業延人員の推移



年度別契約件数の推移







年度別契約金額の推移

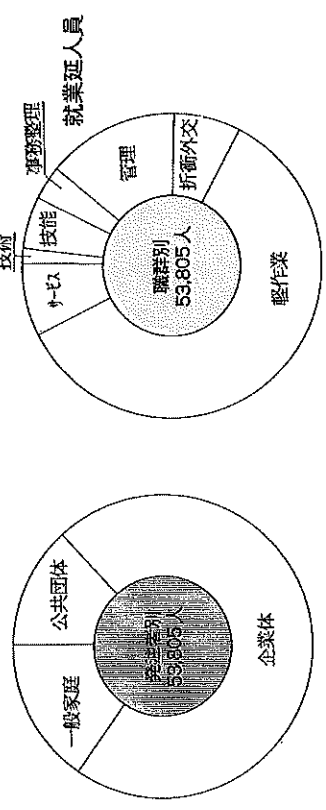
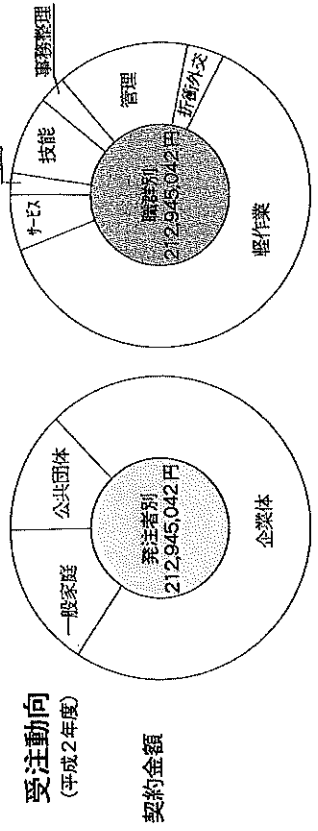


役員異動一覽表

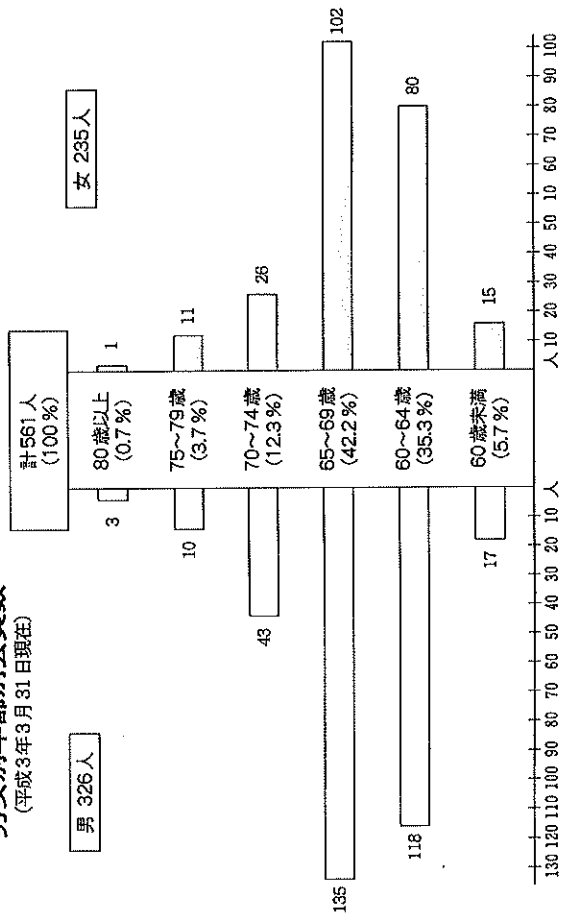
氏名	年	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
井中	熊新					
中谷	芳正					
中野	浦村					
三岡	安藤					
伊藤	新久					
荻野	悦幸					
小島	光金					
中島	賢健					
中津	久一					
黒川	義一郎					
長尾	一久					
山田	一郎					
河上	治成					
山上	正光					
稲河	萬真					
齋藤	吉定					
松本	信守					
新山	明壽					
水田						
末北						

 理事 長
 副理事 長
 理事 事
 監

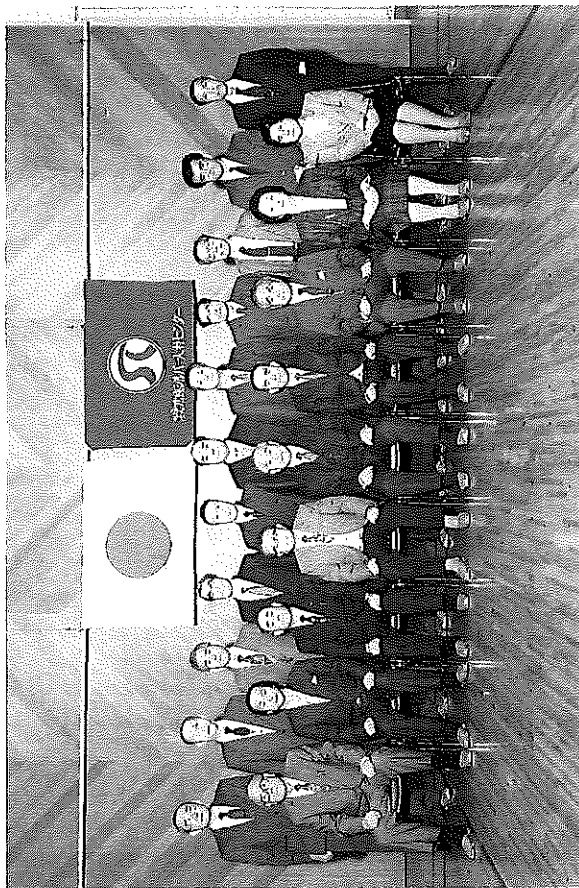
受注動向 (平成2年度)



男女別年齢別会員数 (平成3年3月31日現在)

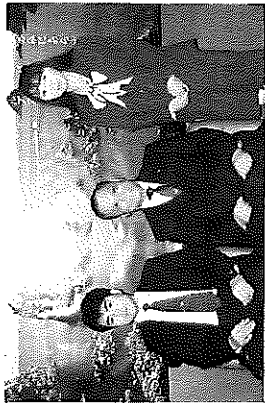


役員紹介



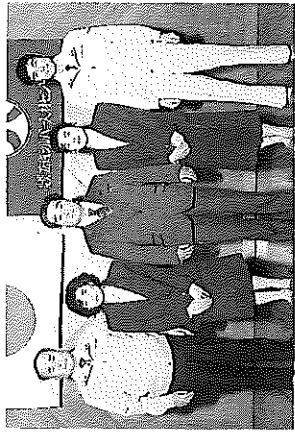
- 河内 治郎 理事
- 藤原 良治 理事
- 末永 明 監事
- 安藤 新熊 理事
- 河村 萬次 理事
- 小西 幸夫 理事
- 中村 金一 理事
- 中村 賢一 理事
- 水津 昌信 監事
- 北村 秀 監事
- 黒川 健一郎 理事
- 伊藤 久江 理事
- 鹿野 光子 理事
- 溝口 隆男 理事
- 甲村 昌幸 副理事長
- 井町 新熊 理事長
- 三浦 猛 副理事長
- 新前 豊 理事
- 松田 吉彦 理事
- 長尾 久義 理事

職員紹介



長門事務所職員

- 小林 弘也
- 所長 中谷 四郎
- 杉田 佐美



事務局・秋事務所職員

- 高杉 勇夫
- 堀 雅子
- 吉吉 昭介
- 島長 昭介
- 福田 晴代
- 末益 幸助



サンライフ秋職員

- 婦人益業相談員 三尾 美代子
- 古見 寛子
- 所長 河村 一郎
- 小西 幸夫
- 体育指導員



三陽事務所職員

- 末永 寛子
- 所長 原田 隆二

5 周年記念表彰者

秋	一般表彰	企業	個人	☆來島ちづ子 ☆増野 三郎
	一般表彰	企業	個人	☆柴田 モヨ ☆村上 勝芳 ☆山口屋幸彦 ☆岩淵 初子 ☆井町 通子
	一般表彰	企業	個人	☆作間 包夫 ☆白上 岩男 ☆山口屋幸彦 ☆岩淵 初子 ☆井町 通子
	職群班グループ表彰	企業	個人	☆野定班4人 (山崎與太郎・作間 包夫・神野 友雄・陽 正和) ☆觀光地清掃班3人 (横道 愿郎・中村 孝・田口 定秋)
	特別表彰	企業	個人	☆末永 明 (前事務局長)
長門	一般表彰	企業	個人	☆藤光蒲鉾工業(株) ☆ヤマネ鉄工建設(株) ☆八坂会館よ志乃
	一般表彰	企業	個人	☆谷田 忠義 ☆水島 正男
	職群班グループ表彰	企業	個人	☆青海島キャンプ村清掃グループ
三隅	一般表彰	企業	個人	☆安藤建設(株) ☆田中土建
	一般表彰	企業	個人	☆宮垣ミサヲ ☆田村 清

(敬称略)

設立5周年
記念事業実行委員会

委員長	熊新
副委員長	井町新
委員	三浦安
委員	藤野新
委員	鹿野光
委員	中村金
委員	長尾久
委員	岡村昌

式典表彰部会

部長	岡村昌
委員	安藤新
委員	小西幸
委員	鹿野光
委員	長尾久
委員	小坂義
委員	小坂亮

記念誌編集部会

部長	中村金
委員	末永明
委員	水津百合
委員	北村馨
委員	安藤隆

あ と が き

山陰地方では数少ない広域シルバー人材センターとして、昭和61年9月発足して5年間のあゆみを続けてきましたが、当初は試行錯誤の連続であり、よくここまで成長でき得たものと感慨深いものがあります。

今年には5周年という記念すべき節目の年にあたりますので記念誌を発刊することになりました。

このところ、ますます高齢者社会への移行が早まっていく中で、シルバー人材センター事業の重要性が認識されるとき、つたない小誌ですが、発足以来の足跡を見つめながら、組織を挙げて将来への発展のための挑戦にいささかの糧となれば幸甚です。

編集にあたっては、広域シルバー人材センターの特色をふまえながら、見やすく、思い出を印象づけるために、会員の写真や履歴を多く掲載することに努力しました。

この記念誌発刊にあたり、ご多用中にもかかわらず玉稿を賜りました首長をはじめ関係機関、企業ならびに会員の皆様にあつくお礼申し上げます。

平成3年5月27日

設立5周年記念誌編集委員会

いざいき設立五周年記念誌

発行日 平成3年5月27日
発行者 (社) 秋・兵門・三脚地区
広域シルバー人材センター

秋市江向523番1
サンライフ秋内
電話 (08382) ⑥-0505

印刷 (有) マシヤマ印刷
秋市川島414番地
電話 (08382) ②-1103



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして製作したものです。デザインは、シルバー（Silver）の〔S〕とセンター（Center）の〔C〕で飛翔する鳥と動き出す人の姿を表現しています。